



2020年10月5日

各位

会社名 株式会社 **ロビ-ヌ**

代表者名 代表取締役社長 青井康弘

[コード番号 8143 東証 第2部]

問合せ先 取締役常務執行役員経営統括本部長 尾崎史照
(TEL 06-6946-3600)

業績予想、配当予想、棚卸資産評価損、営業外収益及び特別損失に関するお知らせ

2020年7月10日に公表いたしました2021年2月期第1四半期決算短信において未定としておりました2021年2月期第2四半期の業績予想及び通期の配当予想を下記のとおりお知らせいたします。また、当社グループは、2021年2月期第2四半期累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）において、棚卸資産評価損、営業外収益及び特別損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値（2020年3月1日～2020年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回発表予想（B）	2,310	△ 1,150	△ 1,000	△ 1,050	△ 446.82
増減額（B－A）	—	—	—	—	
増減率（%）	—	—	—	—	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年2月期第2四半期）	4,348	△ 299	△ 273	△ 288	△ 122.75

（注） 1株当たり当期純利益の端数処理方法は、有価証券報告書、四半期報告書に合わせて切捨てとしております。

2. 2021年2月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回予想	—	0.00	—	0.00	0.00
前期実績 （2020年2月期）	—	0.00	—	0.00	0.00

3. 公表の理由

2020年7月10日に公表いたしました「2021年2月期第1四半期決算短信」におきまして、2021年2月期第2四半期の連結業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下、合理的な算定が困難なため未定としておりましたが、下記4、5及び6を含め、現時点における当社が入手可能な情報から精査し算定いたしましたので公表いたします。配当予想につきましては、現下の厳しい収益状況を踏まえ、誠に遺憾ながら実施を見送らせていただきたく存じます。

当社グループを取り巻く環境は、第1四半期連結会計期間においては政府による緊急事態宣言の発出により、商業施設の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請による個人消費の急激な冷え込みなど、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上高が前年同期に比べ62.0%減少し、大幅な赤字を計上いたしました。第2四半期連結会計期間においては、緊急事態宣言が解除され、経済活動が再開されてはいるものの、8月には新型コロナウイルス感染症の第二波到来というべき状況となり、都市部を中心に感染拡大が広がりを見せるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。このような状況の中、当社グループは、百貨店売場や自社直営店などのリアル店舗とWEBチャンネルの両面からお客様との接点を広げて販売に努めるとともに、感染予防の徹底や製造・仕入の抑制、経費の削減に努めるなど厳しい状況に対処してまいりましたが、衣料品の買い控え傾向が続く中、卸売・小売販路とも売上低下が大きく、下記4、5及び6を含め、今回発表の見通しとなりました。第3四半期連結会計期間以降においても、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しや収束以降の景気及び消費の動向が当社グループに与える影響が懸念されます。

なお、2021年2月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が困難なため、予想が可能となった段階で速やかに公表いたします。

4. 棚卸資産評価損の計上について

当社の保有する棚卸資産に関しまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止策による商業施設の営業自粛や外出自粛等の影響から、売上高が激減し、今後の収束の見通しが不透明な中、大幅に増加した売れ残り在庫商品の収益性が低下したと認められるため、今後の販売可能性を考慮し、正味売却価額まで簿価を切り下げ、2021年2月期第2四半期累計期間において棚卸資産評価損5億26百万円を売上原価に計上する見込みです。

5. 営業外収益の計上について

当社グループは、新型コロナウイルス感染症に係る特別措置に基づいた雇用調整助成金等の支給申請を行い、1億15百万円の交付を受けました。福祉事業を行っている子会社ラピーヌ夢ファーム株式会社の就労支援事業運営費収入10百万円と合わせ1億26百万円を2021年2月期第2四半期累計期間において、助成金収入として営業外収益に計上する見込みです。

6. 特別損失の計上について

当社グループは、直近の経営環境における事業の収益性を鑑み、本社等の共用資産（建物、器具備品、リース資産等）及び一部の店舗等の固定資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2021年2月期第2四半期累計期間において、34百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。